

2 避難時の心得

大雨時

水の中の移動はとも危険です。はん濫した水中を歩かなくてすみむる早い避難を心がけてください。やむを得ない場合、次の点に注意して安全に避難してください。

<p>心得その1</p> <p>歩ける深さ</p> <p>水深は浅くても流れがあると危険です。危険を判断した場合は無理せず、高所を救援を待ちましょう。</p>	<p>心得その2</p> <p>足下に注意</p> <p>水面下にはどんな危険が潜んでいるかわかりません。長い棒を杖がわりにして安全を確認しながら歩きましょう。</p>
<p>心得その3</p> <p>はき物</p> <p>裸足・長靴は禁物です。ひもで締められる運動靴にしなす。</p>	<p>心得その4</p> <p>子どもや高齢者を安全に</p> <p>お年寄りや病人などは背負い、幼児は浮き袋を付けたらして安全を確保しましょう。</p>
<p>心得その5</p> <p>ロープをつなげて</p> <p>はくれぬようお互いの体をロープで結び、一列になって避難しましょう。特にお年寄りや子どもから目を離さないようにしてください。</p>	

地震時

緊急地震速報を見聞きしたり、地震の揺れを感じたら、次の点に注意して安全に避難してください。

<p>心得その1</p> <p>家では</p> <ul style="list-style-type: none"> 頭を保護し、じょうぶな机の下など安全な場所に避難する。 あわてて外へ飛び出さない。 むむに火を消そうとしない。 	<p>心得その2</p> <p>自動車運転中は</p> <ul style="list-style-type: none"> 急ブレーキはかけず、ゆるやかに減速をおとす。 ハイパーランプを点灯し、まわりの車に注意をする。
<p>心得その3</p> <p>鉄道・バスでは</p> <ul style="list-style-type: none"> つり革、手すりしっかりとつかまる。 ブロック塀の倒壊に注意。看板や割れたガラスの下に注意。 	<p>心得その4</p> <p>屋外(街)では</p> <ul style="list-style-type: none"> 避難の間に停止させ、速くお通り。
<p>心得その5</p> <p>エレベーターでは</p> <ul style="list-style-type: none"> 避難の間に停止させ、速くお通り。 	

3 平常時の心得

市民のみなさんの大切な命や財産を守るためには、行政による「公助」だけでなく、みなさんの「自助」「共助」により地域の防災力を高めおくことが重要です。

<p>自助 自分の身は自分で守る</p> <ul style="list-style-type: none"> ●家族会議 <ul style="list-style-type: none"> 家族の役割分担、避難所の確認、家族間の連絡方法などを確認しよう。 ●わが家の安全点検 <ul style="list-style-type: none"> 家屋の耐震化、家具の固定、ガラスの飛散防止などを身として空間の安全確保をしましょう。 ●備蓄品・持ち出し品のチェック <ul style="list-style-type: none"> 避難時に持ち出す非常時持ち出し品、救援活動が受けられるまでの備蓄品を家族構成に合わせて用意しておきましょう。 	<p>共助 自分たちのまちは自分たちで守る</p> <ul style="list-style-type: none"> ●自主防災組織 <ul style="list-style-type: none"> 防災訓練などに積極的に参加し、地域のみなが互いに連携・協力できる体制を強化しましょう。 ●防災まち歩き <ul style="list-style-type: none"> 地域の中の危険な場所を知り、地図に書き込むとともに、地域住民に周知し、地域の防災力を強化しましょう。 ●災害時要援護者に心づかいを <ul style="list-style-type: none"> 高齢者や妊婦、体の不自由な人など災害時に支援が必要な人がどこにいるのかを把握し、地域ぐるみで助け合きましょう。
---	---

4 非常時持ち出し品

災害に備えて非常時持ち出し品を準備しましょう。確認したら を入れましょう。

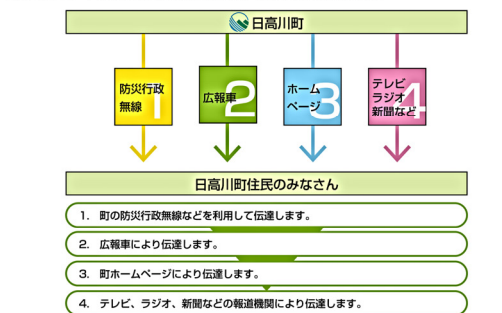
<p>避難用品</p> <ul style="list-style-type: none"> ヘルメット 懐中電灯 雨かっぱ 軍手 笛 など 	<p>情報機器</p> <ul style="list-style-type: none"> 携帯電話 携帯電話 充電機 など 	<p>貴重品</p> <ul style="list-style-type: none"> 現金 健康保険証 預金通帳 印章 家族の写真 など
<p>救急セット</p> <ul style="list-style-type: none"> キズ薬 ばんそうこう 包帯 はさみ など 	<p>非常食</p> <ul style="list-style-type: none"> 水 乾い 缶詰め など 	<p>生活用品</p> <ul style="list-style-type: none"> 衣類 タオル 歯ブラシ 予備電池 など

このリストの他にも、ご家族に乳幼児、妊婦、要介護者がいる場合、おむつ、母子手帳や常備薬(薬を常時服用している方は処方せんのコピーも忘れなく)などが必要で、ご家族で話し合って、必要なものを準備しましょう。

5 避難に関する情報

●避難指示などの伝達方法

避難情報は、下図のような経路で住民のみなさんに伝達されます



●避難の情報

区分	発令時の状況	住民に求める行動
避難準備情報	●災害時要援護者など、特に避難行動に時間を要する者が避難行動を開始しなればならない危険であり、災害の発生する可能性が高まった状況。	●災害時要援護者など、特に避難行動に時間を要する者は、計画された避難所への避難行動開始(避難支援者は支援行動を開始)。 ●上記以外の者は、避難準備開始。
	●通常の避難行動ができる者が避難行動を開始しなればならない段階であり、災害の発生する可能性が段々高まった状況。	●通常の避難行動ができる者は、計画された避難所への避難行動開始。
避難警告	●前兆現象の発生や、現在の危険状況から、災害が発生する危険性が非常に高いと判断された状況。 ●埋没の危険性など、地域の特性などから人的被害の発生する危険性が非常に高いと判断された状況。 ●災害が発生した状況。	●避難警告などの発令後避難中の住民は、直ちに避難行動を完了。 ●未だ避難していない対象住民は、直ちに避難行動に移るとともに、そのいまだまがない場合は生命を守る最低限の行動。
避難指示		●避難指示などの発令後避難中の住民は、直ちに避難行動を完了。 ●未だ避難していない対象住民は、直ちに避難行動に移るとともに、そのいまだまがない場合は生命を守る最低限の行動。

8 もしも、ため池の堤防が壊れたら

●はん濫シミュレーションについて

本ハザードマップ作成にあたり、万一の事態でため池が決壊した場合、最大などの程度の被害範囲となるかを知るために、最悪の状況を想定した被害予測を行いました。

地図上では、想定される最大の浸水範囲と深さを示しています。

浸食、沈下、ひび割れ、ひび割れ(水みち)、パイピング(水みち)、漏水、崩壊、水の流れ、堤防の抵抗力、正常時の堤防内水位、堤防内水位が上昇、空洞化=水みち、底層の折れ

●こんなとき、ため池が危ない!!

発令警報については、ため池の水位低下だけでなく、決壊を促すために行われます。ただし、発令以上の大雨が発生した場合、いどのような状況でため池が決壊してしまうかは不明のため、最悪の状態を想定しています。

大雨時

- 急激な水位上昇により、漏水が堤体を越えようとする場合
- 漏水が急激に増え堤体や池水に濁りが生じた場合
- 堤体が陥没し、漏水が生じた場合

地震時(震度4以上)

- 堤体の陥没やひび割れが発生し、急激な漏水量の増加や漏水に濁りが生じた場合

6 大雨・洪水に関する情報

●気象情報について

分類	用語	説明	基準(1時間雨量)
大雨 洪水	特別警報	台風や集中豪雨により数十年に一度の降雨量となる大雨が予想され、もしくは数十年に一度の強度の台風や同程度の温帯低気圧により大雨になると予想される場合	
	警報	大雨による重大な災害が発生すると予想された場合	100mm
	注意報	大雨による災害が発生すると予想された場合 大雨などによる河川の増水やはん濫などによる災害が予想された場合	70mm

●1 時間の総雨量と雨の強さ

ザーザーと降る。地面、道路、傘をさして歩く。ハザードマップをみる。海のように降る。水し。息苦しくなるような圧迫感にたまりがたまる。もれる。ワイパーを速く動かす必要がある。雨の降る音がうるさい。

7 地震に関する情報

●震度階級表

<p>震度4</p> <ul style="list-style-type: none"> ●ほとんどの方が、歩いている人のほとんどは、物を持って歩くことが困難になる。 ●倒壊しにくい建物の外壁が崩れ、倒れるものもある。ドアが開かなくなることもある。 ●倒壊しにくい建物の外壁が崩れ、倒れるものもある。 	<p>震度5弱</p> <ul style="list-style-type: none"> ●ほとんどの人が、物を持って歩くことが困難になる。 ●倒壊しにくい建物の外壁が崩れ、倒れるものもある。 ●倒壊しにくい建物の外壁が崩れ、倒れるものもある。 	<p>震度5弱</p> <ul style="list-style-type: none"> ●ほとんどの人が、物を持って歩くことが困難になる。 ●倒壊しにくい建物の外壁が崩れ、倒れるものもある。 ●倒壊しにくい建物の外壁が崩れ、倒れるものもある。 	<p>震度6弱</p> <ul style="list-style-type: none"> ●ほとんどの人が、物を持って歩くことが困難になる。 ●倒壊しにくい建物の外壁が崩れ、倒れるものもある。 ●倒壊しにくい建物の外壁が崩れ、倒れるものもある。 	<p>震度6強</p> <ul style="list-style-type: none"> ●ほとんどの人が、物を持って歩くことが困難になる。 ●倒壊しにくい建物の外壁が崩れ、倒れるものもある。 ●倒壊しにくい建物の外壁が崩れ、倒れるものもある。 	<p>震度7</p> <ul style="list-style-type: none"> ●ほとんどの人が、物を持って歩くことが困難になる。 ●倒壊しにくい建物の外壁が崩れ、倒れるものもある。 ●倒壊しにくい建物の外壁が崩れ、倒れるものもある。
---	--	--	--	--	---

9 はん濫水の到達時間

はん濫シミュレーション結果におけるはん濫水の到達時間を表現しました。特に避難が必要な地区にお住りの方は、ため池が決壊する前に早めの避難を行う必要があります。

到達時間

- 1分~5分未満
- 5分~10分未満
- 10分~15分未満
- 15分~20分未満
- 20分~25分未満
- 25分~30分未満
- 30分~35分未満
- 35分~40分未満

中津小学校区

坂本(上)池・大谷下池・滝本池
風呂の谷池・久保谷池・長子池

ハザードマップ



ため池ハザードマップとは?

ため池ハザードマップは、万一の地震や大雨によってため池が決壊する恐れのある場合の備えとして、自分や家族の命を守るために役立つ情報を提供するものです。

また、住民のみなさんがマップを通じて、想定される災害を事前に知り、自らの避難を考え、地域の防災力向上に取り組みられることを目的としています。

●緊急時の連絡先

日高川町役場	0738-22-1700	[上下水道] 日高川上下水道課	0738-22-1700
日高川城消防本部	0738-63-1119	NTT	113
消防警察署	0738-23-0110	NTT (携帯・PHSからの連絡先)	0120-444-113
電気(電力) 日高川営業所	0800-777-8073		

●最新の情報はこちらから

日高川町ホームページ	http://www.town.hidakagawa.lg.jp/
防災わかやま	http://www.pref.wakayama.lg.jp/bousai/index.html
気象庁 和歌山地方気象台	http://www.jma-net.go.jp/wakayama/

[目次]

- | | |
|----------------|-------------------|
| 1 わが家の避難所・避難経路 | 6 大雨・洪水に関する情報 |
| 2 避難時の心得 | 7 地震に関する情報 |
| 3 平常時の心得 | 8 もしも、ため池の堤防が壊れたら |
| 4 非常時持ち出し品 | 9 はん濫水の到達時間 |
| 5 避難に関する情報 | |

1 わが家の避難所・避難経路

●わが家の防災メモ

家族の名前	生年月日	血液型	既往症	携帯電話/会社・学校の連絡先

メモ

●わが家の避難経路

ハザードマップを持って、家族みんなで避難所まで歩いてみましょう。実際に歩いてみて、安全で避難しやすい経路を探し、あなたの経路図を右の地図に書き込んでみましょう。

[書き込み例]

避難所
公園
田んぼ
★自宅

▶▶ 災害用伝言ダイヤル

災害用伝言ダイヤルは、「伝言の伝言機」(安否情報)の役割をする電話サービスです。被災地内とその地域のの人々との間で、伝言の録音・再生をすることができます。

伝言の録音 1711 + 1 + 自分が高齢者等 (市外番号から) → 録音

伝言の再生 1711 + 2 + 相手の電話番号等 (市外番号から) → 再生